

田中 彩医師が日本甲状腺学会「若手奨励賞」を受賞

2018年11月22日（木）から24日（土）にかけて埼玉県川越市で開催された第61回日本甲状腺学会学術集会において、原研医療（腫瘍外科）大学院生の田中 彩医師が第15回若手奨励賞を受賞しました。田中医師は「甲状腺乳頭癌における *TERT* プロモーター変異のアレル頻度・*TERT* mRNA発現と予後との関連性について」と題する演題発表を行い、選考の結果、同賞を授与されたものです。

日本甲状腺学会は1958年5月の設立以来、基礎から臨床までを含めた甲状腺学の発展に寄与してきました。若手奨励賞は甲状腺学の臨床・研究の活性化を促進するために、40歳以下の研究者を対象として日本甲状腺学会より与えられるもので、授与式は11月24日、ウェスタ川越大ホールにて同学術集会総会に引き続いて行われました。

Dr. Aya Tanaka, graduate student of Department of Radiat Med Sci, ABDI, received the 15th young investigator award in the 61st Annual Meeting of the Japan Thyroid Association.

